

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社IMS
2 貴社の取組状況について (1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 今後の優秀な人材の確保を考えたときに、性別にかかわらず育児休業を取得することができる環境が構築されていることが会社選択における当社への評価に繋がると考えたため (2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 育児休業に関する制度・規程の整備と周知 (3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 育児休業を取得することへの周囲の理解と当該従業員が担っていた業務の引き継ぎをいかにスムーズに行うかが課題であり、特定の人材に負担がかからないよう関係部署に調整の工夫を依頼した (4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 育児をしている従業員をみんなで支える社風の構築 (5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 男性従業員より配偶者の妊娠・出産等の情報を得次第、制度の説明と休暇や育児休業の取得の意向確認を実施。総務課に窓口を設置し、相談しやすい体制の確立を目指している	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 163 日間
2 育児休業の取得について (1) 育児休業を取得したきっかけ ・第二子が生まれるにあたり育児に積極的に参加し妻の負担を軽減するため。 (2) 育児休業を取得して良かったこと ・夜中でも2～3時間おきにミルクやおむつ替え、寝かしつけをしていると自分が寝る時間は30分程度を小刻みにとることとなり、十分に休息が得られないこともあった。仮に、育休を取らなかったことを考えると寝不足のまま出社や、体調を崩すことになったと思う。育休を取得し育児に専念することができよかった。 (3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 ・4ヶ月ほど前から上司に育休を取る旨伝えていたこと。 ・一つの業務を複数の職員に引継ぎ、1人に負担がかからないようにしたこと。 (4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること ・時間配分や段取りを意識することが増えた。 ・家に感染症を持ち込むと一家全員感染することへの危機感から、自分を含む家族全員の感染症対策や健康管理により一層気を遣うようになった。 (5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス ・育休中を通して子の成長を間近で見守ることができ、貴重な経験となりました。また、家族と過ごす時間が増えたことで、育休前と比べて家族のために仕事を頑張ろうという意識が強くなり、仕事に取り組む意欲も高まりました。	